

スタートアップM&A 寄附講座



京都大学

設置期間 2024年4月1日～2027年3月31日

寄附者 株式会社 ストライク

「スタートアップM&Aに関する教育研究活動」



スタートアップ M&A の研究、そして、スタートアップと大企業の共創を担う人材育成に取り組んでいます。



教員

特命教授 松本 茂
客員准教授 朝岡 大輔

准 教 授 山田 和郎

講義

◎スタートアップ M&A（後期）

概要

日本政府は、スタートアップへの年間投資規模 10 兆円を目標とし、日本をアジア最大のスタートアップハブとする「スタートアップ育成 5 カ年計画」を 2022 年に策定している。近年、国内では起業数やベンチャーキャピタル（VC）による投資は増加傾向にあり、投資の入口は拡大している。しかし、スタートアップ投資のイグジット（投資回収の出口）は IPO が中心で、事業会社による M&A はまだ少なく、出口市場は十分に発達していない。スタートアップ大国の米国では M&A がスタートアップ投資のイグジットの主要な手段となっており、M&A による大企業とスタートアップの相乗効果がイノベーションと成長に結び付いている。日本においても、スタートアップ M&A は成熟企業のイノベーション創出を促し、出口市場の多様化がスタートアップ投資の魅力をもっと高めると考えられる。今後、国内に投資の重厚なエコシステムを構築していくには、スタートアップ M&A の拡大が欠かせない。

本講座では、スタートアップ投資のイグジット、特に M&A について研究を行う。具体的には、プライマリー市場に加え、セカンダリー市場が発達している米国のスタートアップ投資について調査を行うとともに、日本の VC やコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）による投資とイグジットに関して分析を行う。また、本講座は、スタートアップと大企業の共創を担う人材の育成を目的として、経営管理大学院に「スタートアップ M&A」の講義を提供し、学外においても M&A の実務家やスタートアップのマネジメントを対象とした教育にも貢献していく。

研究成果を学界や産業界に発信することで、本講座が日本のスタートアップ M&A に関する研究と教育の中核となることを目指す。

スタートアップM&A 寄附講座



京都大学

設置期間 2024年4月1日～2027年3月31日

寄附者 株式会社 ストライク

「スタートアップM&Aに関する教育研究活動」



スタートアップ M&A の研究、そして、スタートアップと大企業の共創を担う人材育成に取り組んでいます。

教員紹介



松本 茂 特命教授

専門分野

企業買収 (M&A)、グローバル経営

Message

ビジネススクールの醍醐味のひとつは、企業経営をアカデミックなアプローチで掘り下げる面白さに出会うことです。私自身もその楽しさに惹かれたひとりで、仕事の傍ら企業買収の成否を研究し博士を修めました。刻々と進化するグローバルビジネスを探究する楽しさに気付いてもらうことも自分の役割と考えています。



山田 和郎 准教授

専門分野

コーポレートファイナンス

Message

データが好きです。理論を理解したうえで、データから現実を丁寧に読み取る過程は、時間もかかり泥臭いものです。一般に広く言われている言説も、実際のデータを見てみると違う姿が現れることがあります。



朝岡 大輔 客員准教授

専門分野

コーポレートファイナンス、M&A、コーポレートガバナンス

Message

コーポレートファイナンスの世界では、企業のイノベーションによって常に新しいことが起こり続けており、興味は尽きません。実践に支えられたファイナンス理論を学ぶことの一つの良い点は、変化し続ける環境において、新しい問題に直面した時でも適切な判断をする力を身に付けられることです。そのための判断軸や枠組みを提供することを目指しています。